

令和7年度入学試験問題

総合問題(学校教育科学)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
3. 解答用紙は4枚、草稿用紙は2枚です。
4. 各解答用紙には、受験番号を記入する欄がそれぞれ1箇所あります。
すべて記入しなさい。
5. 試験終了後、問題冊子と草稿用紙は持ち帰りなさい。

問題Ⅰ 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

この個所は著作権の関係で表示できません。
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この箇所は著作権の関係で表示できません。
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

【出典：佐藤学『教師というアポリア—反省的实践へ—』世織書房，1997年，57-63
ページ。なお，出題の都合上，一部変更・省略している。】

問 1 下線部①～⑤のカタカナを漢字で答えよ。

問 2 下線部(1)「反省的实践家」とは，教職に対するどのようなアプローチに基づく
教師なのか，文章中の語句を用いて，説明せよ。(字数制限なし。ただし，解
答欄に収まるように記述せよ。)

問 3 下線部(2)「教師の自律性の衰退と学校組織の官僚化」とあるが，筆者の主張を
踏まえ，この状況を批評し，今後の見通しを述べよ。(字数制限なし。ただ
し，解答欄に収まるように記述せよ。)

問 4 下線部(3)「教師と子どもが，相互主体的に探究活動を展開し合う授業」とは，
どのような授業か。この文章を踏まえ，あなたの考えを述べよ。(字数制限な
し。ただし，解答欄に収まるように記述せよ。)

問題Ⅱ 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

この個所は著作権の関係で表示できません。
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

注

STEM とは、Science, Technology, Engineering, Mathematics の頭文字をとった、いわゆる「理工系」に該当する分野を指す。

【出典：牧野百恵『ジェンダー格差—実証経済学は何を語るか—』中央公論新社，
2023 年，86-92 ページ。なお，出題の都合上，一部を変更・省略している。】

問 1 下線部(1)の「わずかな事実」によるステレオタイプを簡潔に説明せよ。(字数制限なし。ただし、解答欄に収まるように記述せよ。)

問 2 イとロに入る適切な単語の組み合わせを下の①～④の4つのうちから1つ選
択せよ。

- ① イ：他者 ロ：バイアス ② イ：ジェンダー ロ：教師
③ イ：他者 ロ：教師 ④ イ：ジェンダー ロ：ステレオタイプ

問 3 関連性のあり方には、下線部(2)の因果関係と相関関係がある。そして、関連
性の強さをみる指標として、相関係数がある。

表1は中学生AからJの数学と理科の試験の点数(10点満点)を示したもの
である(数値は架空)。この表から数学の点数と理科の点数の標準偏差と相関係
数を求めよ。なお、相関係数については小数第3位まで書くこと。また、答え
だけでなく、標準偏差と相関係数を導く過程もわかりやすく書くこと。

表1 数学と理科の点数

生徒	数学	理科
A	8	4
B	10	2
C	5	2
D	2	4
E	10	8
F	3	2
G	8	6
H	4	4
I	8	6
J	2	2

問 4 下線部(3)を英訳せよ。なお、「実証的」は empirical を使用すること。

問 5 欧米では専攻分野のジェンダー・アンバランスを解消するため、STEM 教育とジェンダーに関する研究と政策的取り組みが 1980 年代頃から進められてきたといわれている。一方、日本では 2000 年前後から STEM 教育とジェンダーに関する議論が本格化した。ところが、大学の STEM 分野で学ぶ女性の比率はいまだ低調である(理学系学部的女性学生の割合：2000 年度＝25.3 %→2023 年度＝27.9 %，工学系学部：2000 年度＝10.0 %→2023 年度＝16.1 %，『学校基本調査』より)。

こうした課題を解決するために、政策的に何ができるだろうか。下記の図(図 2)を読み取り、課題文に即しながら、あなたの考えを述べよ。(字数制限なし。ただし、解答欄に収まるように記述せよ。)

この個所は著作権の関係で表示できません。
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

5

図 2 数学と理科の教員の性別(中学校 2 年生)の国際比較(左が数学，右が理科)
出典：国立教育政策研究所編『TIMSS 2019 算数・数学教育/理科教育の国際比較』
明石書店，2021 年。

注：図の数値は指導を受けた生徒の割合に換算して作られたものである。